

採 択 理 由

採択地区名【尾張東部】

種 目 名	数学	採択替えの有無	有 ・ ☐ 無
発 行 者 名	啓林館	従来の発行者名	啓林館

1 学習指導要領との関連

- 単元の導入場面では、身のまわりの問題を取り上げ、主体的に取り組めるような構成になっており、数学の有用性や学ぶ意義が実感できる構成となっている。
- 「説明しよう」「話し合おう」では、多様な考えに触れたり、筋道を立てて説明したりする場が設定されており、対話をしながら深い学びへつながるように編集されている。

2 「あいちの教育の基本理念」との関連

- デジタルコンテンツを利用することで、内容や例題の補足や解説を見ることができ、通常の教育活動が行えなくても学び続けることができるようになっている。
- 学びを広げる場面や問題を解決する場面で役に立つ考え方であることが表示されており、数学的な見方・考え方であるとともに、他教科の学習や生活の中でも役に立つ「生きる力」につながるように工夫されている。

3 内容

(1) 内容の選択

- ・ SDGs やキャリア教育、環境教育等に関連した問題を取りあげ、日常生活と数学を関連付けて考えられるような内容となっている。
- ・ 身に着けた知識・技能や思考力・判断力・表現力を利用し、数学的な見方・考え方を働かせて問題を解決することによって、学んだことのよさが実感されるように、すべての単元のおわりに「○○の利用」が配置されている。

(2) 内容の程度

- ・ 「学びをたしかめよう」では、知識・技能が身についたかどうか、「学びを身につけよう」では、思考力・判断力・表現力を伸ばせるように、章末問題が2部構成となっており、習熟度別にも対応している。
- ・ 「問」と同程度の難易度の問題を、デジタルコンテンツで補充問題に取り組めるようになっているため、反復練習することで、基礎・基本の定着を図ることができるようになっている。

(3) 内容の構成

- ・ 「例」「例題」では、基礎・基本に相当する内容を丁寧に取り上げ、その直後には、それにならって解くことのできる「問」が配置され、知識・技能が身に付けられやすいような並びとなっている。
- ・ 「ひろげよう」「ふりかえり」を通して、既習事項をもとに考えたり、違いを意識したりして、新しい学びにつながるように構成されている。

4 表記・表現及び使用上の便宜等

- (1) デジタルコンテンツを利用し、図形やグラフを動かすことができ、数学的な考え方を深めたり広げたりする助けとなっている。
- (2) 補充問題もデジタルコンテンツで掲載されており、同程度の問題を繰り返し取り

組めるため、基礎・基本の定着をはかることができる。

- (3) 自分の考えを整理したり、ほかの人の意見を聞いたりして、多様な考え方を取り入れながら、対話的に学習に取り組めるように、「説明しよう」「話し合おう」「まとめよう」が設定されている。
- (4) UDフォントを採用し、意味や文節による改行を行っており、読みやすくなっている。
- (5) 教科書のイラストは、性別・人種などに配慮し、外国籍の生徒や車いす、めがねを使用している生徒など様々な特性をもつ生徒を登場させている。
- (6) 動画のうちナレーションが含まれるものについては、すべて字幕機能が用意されている。

5 印刷・造本等

- (1) 誰もが紙面の内容を判別しやすい配色になっている。
- (2) デジタルコンテンツを利用し、問題の解説や解答をみることができるようになっているため、ページ数が以前より減っている。